

事業所名	第二城南学園グループホーム事業所		
開催日時	令和8年2月18日(水) 10時から11時30分		
開催場所	熊本市南区城南町塚原213番地 : 第二城南学園グループホーム事業所「もくれんホーム」		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	4名	理事長、管理者、サービス管理責任者、職員1名
	入居者	1名	(発言者1)
	入居者ご家族	2名	(発言者2)、(発言者3)
	地域の関係者	2名	自治会会長(発言者4)、住民代表者(発言者5)
	福祉に知見を有する方	1名	相談支援センター(発言者6)
	経営に知見を有する方	名	
	市町村担当職員	名	
議題	(1) 主催者挨拶 (2) グループホームの紹介 (3) 他ホーム見学 (4) 事例発表(介護サービスへの移行と新利用者の受け入れについて) (5) 施設訪問時の感想 (6) その他		
協議内容・意見等	(1)～(3)略 (4)・介護サービスへの移行と新利用者の受け入れについて Q 障がいサービスから介護サービスに移行するきっかけは何ですか？ A 障がいのある方も介護認定調査を受け、要介護・要支援の結果が出ると介護サービスが優先になります。 今回の方は80歳を超える方で要介護2、デイサービスに3日/週通われていました。 本人の意見も確認しながら施設見学などを重ねて、住み慣れた同じ町の有料老人ホームが見つかりました。 入居された後も通い慣れたデイサービスの利用ができることから介護サービスの移行が決まりました。		
発言者6 回答⇒			
発言者5	(5) 施設訪問時の感想 ・家族の介護を経験しました。今回の訪問で施設内の見学と事例発表を聞いて地域にグループホームがあることで安心しました。		
発言者4	・自宅で5年ほど家族の介護をしました。家族三人で介護をしました。 国の意見として居宅介護をすすめるが体力的負担が大きい。そのため地域のグループホーム又は施設に頼らざる負えない。 施設などの運営には国の支援も必要であるが、その国の支援に見合う中身も必要。 これからも支援の質を上げていく努力を続けてほしいです。		
発言者6	・新規で短期入所を開設される話と部屋の見学をさせていただきました。今後の「親なき後」「緊急時の受け入れ」も考えてサービスを増やされたことは良いことと思いました。		
発言者2	・利用者の中には心身に障害を持たれている方もいると思います。グループホームを見学し、非常口から屋外に出る段差が気になりました。 足腰の悪い方もいると思います。その方たちへの避難方法又は日頃からの避難訓練の実施が必要と感じました。		
今後の検討事項⇒	【避難時の安全面について意見を頂く。】		
発言者3	・今日は3ホームの見学をさせていただきました。前回、見学させてもらった藤山ホームも良かったです。		
発言者1	・休みの日にホームでお笑いのテレビを見ることが楽しみ		



主催者挨拶



事例発表（意見交換）



施設内見学（短期入所の居室）



施設内見学（浴室・洗面所）



倉庫見学（非常食・医療品）

会議の様子